

講演会資料

「いつまでも若々しく生きる」街、足利を目指して
— 「健康第一」、「労働参加率」を高めよう—

2014年11月15日(土)

19:20~20:10

足利市民プラザ

開倫塾

塾長 林 明夫

(<http://www.kairin.co.jp/>)

1. はじめに—日本最古の学校、足利学校にふさわしい「教育の街、足利」づくりを—

(1) 足利市の小学生・中学生は「論語」の素読(そどく)を学校で学習

(2) 足利市の公立小学校・中学校の「英語」教育は日本一のレベル

(3) 足利市では学校でも「5S」教育

①整理(せいり seiri) ……不要なものを捨てよう

②清掃(せいそう seisou) ……常にきれいにしよう

③整頓(せいとん seiton) ……すぐに取り出せるようにしよう

④清潔(せいけつ seiketsu) ……整理、清掃、整頓の3Sを維持しよう

⑤躰(しつけ shitsuke) ……決められたことをきちんと守ることを心がけよう

* 足利商工会議所の「足利5S学校」は「第2回世界5Sサミット」を11月6、7日に開催

* 足利市は国内でも海外でも働く人の自主性を尊重する5Sの街として有名

(4) 「風車による環境教育」

* 足利工業大学は風車の研究で日本一、足利工業大学学長・理事長、牛山泉先生のおかげ

(5) 「一生勉強、一生青春」(相田みつを先生)

* 社会人も、子どもたちに負けないよう一生かけて勉強を

2. 教育力向上のポイントは「先生教育」

(1) 先生としての能力向上

(2) 足利のすべての先生の能力向上

(3) 私の夢：「足利に住み、足利で活動するすべての人々が何らかの形で先生とよばれる人になり、一生かけてよい先生、日本一の先生を目指す」

(4) 開倫塾では「全国模擬授業大会」を開催

① 本年5月25日には、足利工業大学附属高校で第9回を開催しました

② 来年5月24日には、白鷗足利高校で第10回を開催予定

③ 授業の導入部の15分の教え方を競う全国大会

④全国に広まりつつあります

(5)1つ1つの学校や教育機関を磨き込む、一人ひとりの先生が教え方日本一を目指す

先生は、生徒のために、ひたすら勉強、一番勉強すべきは先生とよばれる人

3. 労働参加率の大幅向上を

(1)「生産年齢人口」の「生産年齢」の定義を85歳過ぎまでに変更を

*「15歳から65歳まで」を「15歳から85歳過ぎまで」に「定義の変更」を

*「事情変更の原則」…事情が変わったのだから「定義」も変更を

高齢者の定義も見直しを

①高齢者	65歳以上を75歳以上に
②後期高齢者	75歳以上を85歳以上に
③超後期高齢者	85歳以上を95歳以上に



(2)①「労働参加率」とは1週間に8時間以上働く人の割合

*「労働参加率」の大幅向上を目指すことが持続可能な社会づくりの第一歩

②希望すれば1週間に8時間以上働ける、労働に参加できる街、足利づくりを

③そのための第一歩は一人ひとりが「いつまでも若々しく生きる」こと

4.「いつまでも若々しく生きる」には一人生は長い、長い人生をいつまでも若々しく生きよう—

(1)「新聞」を毎日よく読むこと

・新聞には、世の中のことだけでなく、どうしたら「いつまでも若々しく生きる」ことができるかについての記事が、毎日、山のように出ている

*「スクラップブック」をつくり、気に入った記事を切り抜き、はりつけよう

(2)「古典」をよく読むこと

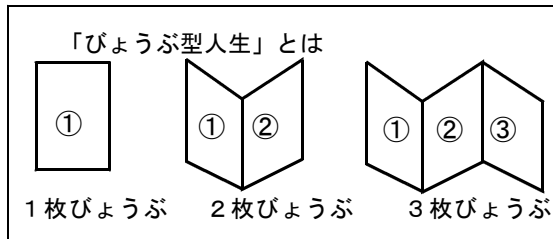
・毎週1回以上は図書館に行き、自分のお気に入りの「古典」とよばれる本を「じっくりと腰を落ち着けて読む」こと

*「古典」の作者と、生きるとは何か、よく生きるとは何かについて、「時空を超えた対話」をしよう

*「書き抜き読書ノート」をつくり、気に入った文章を一行でもよいから書き抜き、繰り返し読み直そう

(3) 「びょうぶ型人生」を目指そう

①



② 1つだけではなく、2つ、3つと「自分のやりたいこと」を、「得意なこと」にしよう。「自分の専門分野」にしよう。「他の人に負けない」までにしよう。「自分なりの日本一」、「自分なりの世界一」を目指そう

(4) 「学び方」を身に着けよう

① そのために、お手本、先生、師匠となるべき人を捜し出す。礼を尽くしてどうしたらできるようになるか教えてもらおう。自分でも勉強、学習しよう。励まし合う仲間づくりも

② 学習には3つの段階がある

(ア) 「理解」 うんなるほどとよくわかる

・ 人から教えてもらおう—「ノート」を取る、「ノート」を繰り返し学習する—

・ 自分で本などで学ぶ—わからないことは「辞書」で意味を調べ、「意味調べノート」に記入。「ことばは力」。ことばの数を増やす—

(イ) 「定着」 一度「理解」したことを正確に身に着ける

・ 「音読練習」
・ 「書き取り練習」
・ 「計算・問題練習」 } 「定着のための3大練習」

練習は不可能を可能にする。

小泉信三・慶應義塾 塾長



(ウ) 「応用」

・ 試験で合格点が取れる
・ 社会で用いることができる

(5) 「お手本(模範となるところ)」から素直な心で学ぶこと

・ 「足利市内」→「栃木県内」→「東京(首都圏)」→「日本国内」→「海外」に手本を求め、
定期的に学び続けよう

(6) 「実験」を「繰り返す」(2歩進んで1歩下がる。失敗を恐れない。チャレンジし続ける)

5. 「労働参加率向上」の最大の課題は「雇用を増やすこと」
- (1) 企業や事業所は「85歳過ぎまで働ける職場づくり」を
 - (2) 企業や事業所は仕事の「標準化」をすすめよう
1週間を通じて8時間以上働く人が勤務できる職場づくりを
 - (3) 「企業内創業」も含め、「創業・起業」促進を
* 経営者の「事業構想能力」、「顧客価値最大化能力」が鍵



6. 「国際競争力」の強化を
- (1) 外国に打って出る企業の支援
 - (2) 外国企業の受け入れの支援
 - (3) その第一歩は外国人留学生の就職促進
* 外国人留学生の住みやすい街づくり



7. おわりに—私の好きなことば—

- (1) ブルドッグ魂…食いついたら離すな (山辺中 岡田忠治先生)
- (2) 自他共栄…自分も他人も共に栄えよう (山辺中 椎名弘先生)
- (3) 一所懸命…一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組もう (足利高校マラソン大会)
- (4) 独立自尊…一人ひとりが独立して一つの国も独立する、地方も独立する (福沢諭吉先生)
- (5) 会った人は、皆、友達 (石川洋先生)
- (6) 自然と精神 (ベイトソン先生)
- (7) 持続する志(こころざし) (大江健三郎先生)
- (8) いつまでも若々しく生きる (中村天風先生)
- (9) 教育ある人とは勉強し続ける人 (ドラッカー先生)
- (10) 一生青春、一生勉強 (相田みつを先生)

御静聴を感謝いたします。